

(別添2)

No.	16-009
策定年月	令和5年3月
見直し年月	令和6年3月

水田農業高収益化推進計画  
安曇野市産地推進計画

1 計画作成主体の情報

名称 安曇野市農業再生協議会	
構成機関・団体名及び役割分担	安曇野市農業再生協議会：水田活用の直接支払交付金の活用推進、営農計画書・交付申請・計画策定の取りまとめ 安曇野市農業委員会事務局：農地情報の収集、農地集積・集約の推進 あづみ農業協同組合：技術・機械等の導入支援、販売先の確保・拡大、担い手確保・育成 松本ハイランド農業協同組合：技術・機械等の導入支援、販売先の確保・拡大、担い手確保・育成

2 推進品目及び目標

品目名	用途	露地／施設	産地名	目標							
				作付面積		収量		販売額		その他	
				現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値
たまねぎ	生食用種用	露地	安曇野市	4.1 ha (令和4年)	4.2 ha (令和8年)	4千 kg/10a (令和4年)	4千 kg/10a (令和8年)	165百万円 (令和4年)	168百万円 (令和8年)	(令和4年)	(令和8年)
ジュース用トマト	加工・業務用	露地	安曇野市	2.1 ha (令和4年)	2.8 ha (令和8年)	7千 kg/10a (令和4年)	7千 kg/10a (令和8年)	79百万円 (令和4年)	103百万円 (令和8年)	(令和4年)	(令和8年)

※ 「用途」欄には、用途に応じて「生食用」「加工・業務用」「飼料用」「切り花用」等と記載する。

※ 同一の品目であっても、用途や「露地／施設」の別が異なる場合や、出荷団体が複数ある場合には、項目を分けて記載し、

「産地名」欄に、●●農協、●●集落、●●学区など、一定のまとまりを持って高収益作物又は子実用とうもろこしの作付けに取り組む範囲が分かる名称を記載すること。

※ 設定した目標値の妥当性がわかる資料（県や地域の統計など）を添付すること。